

再臨のメシヤと共に14万4千人の人たちがシオンの山に立っています。その人たちの額には子羊の印と父の印があるのです。子羊は再臨のメシヤを意味し、父は神様を意味します。その人たちは認められた人たちののです。そして彼らの特徴は①新しい歌を歌っています。②女に触れた事がなく純潔です。③再臨のメシヤについていきます。④初めて救われた人たちです。⑤嘘が無く傷がありません。そのように14万4千人に入ることがキリスト教の信仰の夢であります。ただ、この地上に再臨のメシヤが来ていることを知らないのです。2000年間信仰してきたキリスト教ですが、初めて再臨主によって救われた私たちであることを自覚しなければなりません。

印が入っているものは最高の物です。3年にわたって毎年1200名が全世界から選ばれて3600名がその印をもらいます。それでは、私たちがもらう印は何かを考えてみたいと思います。①み言の印、真の御父母様のみ言を愛するという事です。②愛の印です。天の父母様が送って下さった真の父母様を愛することです。③心情の印です。天によって掴まれた人になる事です。

お母様の最近のメッセージが次の内容です。①食口達の夢に泣いているお母様が現れています。お母様からの責任を果たさなければなりません。②父母様が苦労されているときこそ真の孝子、孝女、忠臣にならなければなりません。③真の父母様の痛みと難しさから見れば、私たちの難しさは比較になりません。④今日が生涯の最後の日であるという覚悟で歩むこと、その内容を踏まえ今何をすべきかを考えなければならないのです。それは、①根本的な治療は祝福を受けることです。相対理想があつてこそ天の門が開きます。祝福によって再創造と共に喜ぶ共に感謝する事が無ければなりません。忘れてしまっていないでしょうか？②その次に聖和式があります。真のお父様の教えです。祝福式があつて聖和式です。軽く考えていないでしょうか？

最後に、父母様によって認められた人になった、復活して生きた人になった、再創造の天国の門を通過する人になった、その喜びだけは忘れてはいけません。祝福を受けた人も、受けようとする人もそれだけは忘れないでほしいのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2. 50周年特別路程 (9月2日～12月17日までの歩み)

来年は日韓国交正常化から50周年を迎える年であり、内的には、TFが日本を訪問されて50周年を記念する年でもあります。TFは1965年から世界40カ国を巡回され、120カ所の聖地を決定されました。その最初が東京の代々木公園であり、最後の120番目の聖地に青坡洞前本部教会を定めました。母の国・日本を始めとして、父の国・韓国で最後を結んだように、日本から始まって全世界の平和が韓国に結ばれ、南北統一の道まで結ばれるように条件を立てていきましょう。40日路程は11/8～12/17の期間です。

3. 礼拝堂改装工事のご案内

日程 2014年12月9日(火)～

説教壇、壁紙、天井の改装工事が始まります。

しばらくご迷惑をおかけいたしますがご協力願います。

4. 第7回天一国フェスティバル実行委員会準備会議

日程 2014年12月15日(月)16:00～

場所: 浦和教会

5. 代々木聖地祈祷会

日程 2014年12月18日(木)5:00～

場所 代々木聖地

6. 伝道三日路程

期間 2014年12月16日(火)～18日(木)

7. 家系図講演会

日程 2014年12月19日(金)10:30～

場所 浦和教会

8. 第7回天一国フェスティバル

日程 2014年12月28日(日)開場13:45 開会14:30

場所 さいたま市文化センター



【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

日曜礼拝式次第



説教者：李 炯燮教区長

司会者：田川 敏

伴奏者：町田滋子

開	会	司会者
黙	禱	全 体
※聖	歌 聖歌 26番	全 体
※敬	拝	全 体
※家	庭 盟 誓	全 体
※年	頭 標 語	全 体
代	表 報 告 祈 禱	中村敏樹
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全 体
説	教	勝利の信仰	
※聖	歌と献金 聖歌 19番	全 体
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全 体
お	知 ら せ	司会者
閉	会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

勝利者になろうとする者にぶつかってくるあらゆる環境条件は、協助する環境ではなく、反対する環境です。そのような時、その環境に耐えられなければならない、心だけは、信じて頼ることができるようにならなければなりません。この心は、歴史的な血と涙と汗がまだらに染まって私たちにまで連結されてきます。ですから、どんな困難にも、心だけは動かず、変わってはいけません。

「どこの誰も、勝利したいと思うこの欲求の心情を奪っていくことはできない」という自信をもって進まなければなりません。自信のない勝利は、偶然の勝利です。そのような勝利ではなく、自信のある絶対的な勝利をしなければなりません。そのような勝利は、歴史的な勝利であると同時に、創造理想の勝利です。信念に燃える勝利的な心がなければなりません。どんな試練でも、勝ち抜くまでは勝利の月桂冠をかぶることはできないのです。

原理を学べば、否定できない事実であることがわかるようになるので、行かざるを得ず、やらざるを得ません。ですから、皆さんは、自らが行くべき道なので、その路程で敗北者にならずに勝利しなければなりません。先生も今まで独りで闘いましたが、勝利した基準があるので、皆さんも勝利することができます。先生がいる限り、心配せずに最後まで闘っていけば、勝利は皆さんのものです。先生は確信できます。そのように思っ、自信をもって力強く突破していきなさいというのです。

～ 天聖經 第八篇 信仰生活と修練 第二章 心と体の修練 ～

統一運動

基元節2周年行事準備のための摂理機関実務者会議

基元節2周年行事準備のための摂理機関実務者会議が天暦10月14日(陽暦12.5)午後4時、家庭連合本部7階の会議室で開かれた。ユ会長は「今日この席には、摂理の中心となる方々が集まっています。過去、現在、未来に責任を負った実務中心者として、天一国を定着させていかなければならない祝福家庭の中心的人生において、これまで以上に栄光を成していかなければならない結実の場に立っています。そのような意味で、私たちはこの時代、最も天から祝福を受けた位置に立っていると思う」と摂理実務者の役割が重要だと伝えた。

『今は言葉ではなく行動が、実践が、優先される時代です』という真の父母様のみ言に言及しながら「このような時を迎え、各摂理機関の実務に責任を持つ皆さんが、過去とは異なり、より実体的に生きて行かなければならない」と語った。最後に、ユ会長は現場で進行中の100日の特別活動について報告した後、

『すべての機関が協会と一つになって伝道をしなければならない』という真の父母様のみ言を伝え「すべての機関が愛で一つになって、お互いに助け合いながら一つになって、真の父母の位相を世の中の前に完全に知らせる摂理機関になろう」と語った。



2014年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2014年 活動指針

1. 伝道の飛躍的發展
2. 真の家庭運動の推進
3. 二世圏伝道・教育強化
4. 新家族的メンヤ活動推進